

● 木津川ダム総合管理所 ～水を守り水を生かす木津総管～

Ⅲ. 室生ダム管理所



1. 概要

室生ダムは、青蓮寺ダムと同様に淀川総合開発計画の一環として、名張川支川宇陀川に建設された多目的ダムで、昭和28年度から建設省（現国土交通省）により調査が進められた。

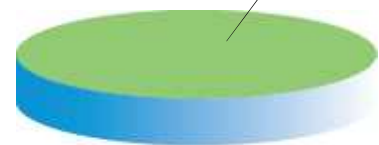
昭和41年、水資源開発公団（現水機構）事業として、実施方針を受け、昭和44年9月工事に着手し、昭和49年3月末に完了、引き続き管理業務を開始し現在に至る。

なお、室生ダム建設事業は大和平野の都市用水を貯水池から導水するため、初瀬水路事業も合わせて実施した。

利水供給先

合計 / 1.600 m³/s

奈良県
1.600m³/s



2. 管理の目的

◆洪水調節

洪水被害を軽減するため、貯水池への流入量が毎秒300立方メートルに達した後は、毎秒300立方メートルを放流する方法により洪水調節を行う。

◆不特定かんがい

宇陀川沿岸の不特定かんがい等としてダムから補給のための放流を行う。

◆水道用水

奈良県の水道用水として、貯水池から初瀬水路を経て、4月16日から10月15日までは最大毎秒1.600立方メートルをその他の期間は、最大毎秒1.200立方メートルを供給する。

■室生ダム貯水容量配分図

